

令和7年度 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

事業報告

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

[1] [療育指導事業 (子ども発達支援センター)]

さまざまな障がいのある子どもたちの主体的な発達を支援するために、子ども発達支援センター・こうべ、さんだ、はんしんにおいて、理学療法、作業療法、聴覚言語療法などを用いて働きかけをした。

(1) 通所訓練事業 (個別・グループ)

在籍児数	子ども発達支援センター・こうべ	207名
	子ども発達支援センター・さんだ	155名
	子ども発達支援センター・はんしん	8名
	計	370名
	(前年)	409名

[個別訓練]

月4回または月2回、個別で聴覚言語療法・理学療法・作業療法などを実施した。

計 368名

[グループ訓練]

月2回、グループによる聴覚言語療法を実施した。

○ 聴覚言語療法 「子ども発達支援センター・さんだ」 計 2名

訓練児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	4名	神戸市	203名
3歳～5歳	34名	三田市	148名
6歳～8歳	124名	西宮市	7名
9歳～12歳	189名	尼崎市	4名
13歳以上	19名	三木市	3名
合計	370名	加東市	2名
		大阪府茨木市	2名
		加古川市	1名
障がい別内訳			
発達障がい	330名		
知的障がい	28名		
肢体不自由	9名		
重複障がい	1名		
構音障がい	1名		
その他	1名		
合計	370名	合計	370名

月4回の通所児 8名

月2回の通所児 358名

月1回の通所児 4名

訓練費減額サービス利用人数 4名

(2) 相談・指導事業

相談児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	5名 (6名)	三田市	110名 (133名)
3歳～5歳	38名 (52名)	神戸市	76名 (82名)
6歳～8歳	67名 (76名)	西宮市	6名 (6名)
9歳～12歳	74名 (83名)	芦屋市	3名 (5名)
13歳以上	16名 (20名)	三木市	2名 (2名)
合計	200名 (237名)	加東市	1名 (7名)
障がい別内訳		姫路市	1名 (1名)
発達障がい	179名 (212名)	大阪市	1名 (1名)
知的障がい	16名 (19名)		
肢体不自由	2名 (2名)		
構音障がい	2名 (2名)		
重複障がい	1名 (2名)		
その他	0名 (0名)		
合計	200名 (237名)	合計	200名 (237名)

* () は延べ人数

相談内容内訳：

相談内容			
発達評価	69名 (81名)	訓練評価	81名 (86名)
発達相談	46名 (61名)	不定期訓練	0名 (0名)
進路相談	0名 (0名)	その他	4名 (9名)
合計	200名 (237名)		

* () は延べ人数

相談費免除サービス利用件数 200件

(3) 他団体への療育指導事業

療育支援の要請があった施設や学校に、訓練士が出向き、訓練や相談を行った。

派遣先	言語聴覚士	作業療法士	理学療法士
神戸市総合療育センター	9名/週	22名/週	10名/週
神戸市東部療育センター	7名/週	18名/週	6名/週
神戸市西部療育センター	10名/週	24名/週	9名/週
三田市立ひまわり特別支援学校小学部	1名/月	1名/月	1名/月
三田市立ひまわり特別支援学校中・高等部	1名/月	1名/月	1名/月
はりま自立の家 (宍粟市)			3名/週
しろう自立の家 (宍粟市)			1名/週
はんしん自立の家 (宝塚市)			3名/週
猪名川町療育事業	2名/週	2名/週	1名/週
ウエルネット三田	2名/月	2名/月	2名/月
こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)	2名/週	1名/週	1名/週
すくすく学級 (芦屋市)		1名 (半日) /週	
あしやみらい (芦屋市)	1名/週		

週、月または年当たりの延派遣人数

(4) (第49回) ことばの巡回相談 (心身障害幼児言語巡回相談指導事業)

療育機関が手薄な地域において、ことばの発達の遅れや発話不明瞭など様々なことばの問題を主訴とする子どもたちの言語症状を評価し、相談・指導を行った。

日 程：令和7年8月1日～8月29日

場 所：兵庫県下の保健センター 計2か所

指 導：当財団言語聴覚士

指導児数：児と保護者 8組 (昨年実績：2カ所 4組)

後 援：兵庫県

実施場所・日程実績内訳：

地区	実施場所	実施日程	実施人数	人数集計
但馬	香美町保健センター	8月4日(月)	1名	1名
西播	福崎町保健センター	8月18日(月)	7名	7名
合計	2か所			8名

対象児年齢別内訳：

3歳未満	1名
3歳	2名
4歳	0名
5歳	2名
6歳	3名
7歳以上	0名
合計	8名

障がい別内訳：

言語発達遅滞	0名
構音障がい	3名
発達障がい	3名
知的障がい	1名
吃音	0名
特になし	1名
合計	8名

(5) 療育研修会

発達上に課題のある子どもたちの援助をしている現場の指導員や教諭、保護者に対して療育に関する情報提供を目的に研修を実施した。

① シェルボーン・ムーブメント 国際シェルボーン・ムーブメント認定コース 初級者養成コース (セッション1・2/セッション3・4)

日 程：令和7年6月28日(土) (セッション1・2)

令和7年6月29日(日) (セッション3・4)

場 所：神戸市中央区文化センター

講 師：平井 真由美 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

衣本 真理子 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

受講者：セッション1・2 32名

セッション3・4 29名

受講者内訳：

地域別人数 (名)		職種別人数 (名)	
兵庫県	22	保育士	12
京都府	3	児童指導員、理学療法士、作業療法士	各4
大阪府	2	公認心理士	3
香川県、奈良県、新潟県	各1	言語聴覚士	2
三重県、岡山県		教諭、児童福祉士、保育事務	各1
合計	32	合計	32

② シェルボーン・ムーブメント 国際シェルボーン・ムーブメント認定コース
実践者コース (セッション5・6)

日 程：令和7年10月18日 (土)

場 所：神戸市中央区文化センター

講 師：瀧澤 聡 氏 (日本シェルボーン・ムーブメント協会会長)

受講者：20名

受講者内訳：

地域別人数 (名)		職種別人数 (名)	
兵庫県	16	保育士	8
北海道	2	作業療法士	5
香川県、新潟県	各1	理学療法士	3
		言語聴覚士、保育事務 准教授、学生	各1
合計	20	合計	20

③ シェルボーン・ムーブメント 国際シェルボーン・ムーブメント認定コース
上級者実践コース (セッション7・8・9・10)

日 程：令和8年2月21日 (土)・22日 (日)

場 所：子ども発達支援センター かるがも園

講 師：瀧澤 聡 氏 (日本シェルボーン・ムーブメント協会会長)

平井 真由美 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

衣本 真理子 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

受講者：16名

受講者内訳：

地域別人数 (名)		職種別人数 (名)	
台湾	10	台湾) ヨガ講師、指導員	各3
兵庫県	5	日本) 保育士、児童指導員、理学療法士 言語聴覚士、准教授、園長	各1
北海道	1	台湾) ソーシャルワーカー、心理士 学生、ティーチングアシスタント	
合計	16	合計	16

④ シェルボーン・ムーブメント 国際シェルボーン・ムーブメント認定コース
指導者を目指すための基準と評価 (セッション11・12)

日 程：令和8年2月23日 (月・祝)

場 所：子ども発達支援センター かるがも園

講 師：瀧澤 聡 氏 (日本シェルボーン・ムーブメント協会会長)

平井 真由美 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

衣本 真理子 氏 (国際シェルボーン協会認定コースリーダー)

受講者：16名

受講者内訳：

地域別人数 (名)		職種別人数 (名)	
台湾	10	台湾) ヨガ講師、指導員	各3
兵庫県	5	日本) 保育士、児童指導員、理学療法士 言語聴覚士、准教授、その他	各1
愛知県	1	台湾) ソーシャルワーカー、心理士 学生、ティーチングアシスタント	
合計	16	合計	16

⑤ 親と子のためのシェルボーン・ムーブメント

日 程：講義 令和7年11月1日（日）～12月6日（土）まで期間限定で配信

実技 令和7年12月6日（土）

令和8年2月28日（土） ※追加開催

場 所：講義 オンラインによる開催（YouTube）

実技 長田区文化センター別館ピフレ

講 師：山田 直樹 氏（当財団言語聴覚士）

受講者：講義）64名、 実技）12/6…4組（親子9名） 2/28…5組（親子10名）

受講者内訳：（講義）

地域別人数（名）	
兵庫県	24
東京都	5
大阪府、神奈川県、熊本県	各4
埼玉県	3
静岡県、岡山県、広島県、沖縄県	各2
新潟県、富山県、山梨県、滋賀県、群馬県、福島県 岐阜県、山口県、愛媛県、福岡県、大分県、鹿児島県	各1
合計	64

（実技）

12/6				2/28			
地域別人数（名）		年齢別人数（名）		地域別人数（名）		年齢別人数（名）	
神戸市	3	2歳	2	神戸市	3	2歳	2
宝塚市	1	3歳、5歳	各1	宝塚市、明石市	各1	1歳、3歳、5歳	各1
合計	4	合計	4	合計	5	合計	5

⑥ 障がいのある子どもたちへの包括的性教育 ～ライフステージに応じた理論と実践～

日 程：令和8年1月17日（土） ※見逃し配信あり

場 所：神戸市中央区文化センター オンライン同時配信（Microsoft Teams）

講 師：伊藤 修毅 氏（日本福祉大学 教育・心理学部 学校教育学科 教授）

受講者：83名（会場受講 18名、オンライン 65名）

受講者内訳：（会場受講）

地域別人数（名）		職種別人数（名）	
兵庫県	16	作業療法士、主婦	各3
		養護教諭、言語聴覚士	各2
滋賀県、鳥取県	各1	教員、保育士、介護福祉士、相談支援専門員 特別支援学校教諭、保健師、学生、会社員	各1
合計	18	合計	18

（オンライン）

地域別人数（名）		職種別人数（名）	
兵庫県	25	作業療法士	12
神奈川県、愛知県	各4	特別支援学校教諭	6
奈良県、滋賀県、千葉県	各3	理学療法士、放課後等デイサービス職員	各5
大阪府、三重県、東京都	各2	心理士、教員	各4
熊本県、長崎県、北海道		児童発達支援管理責任者、助産師、主婦	各3
岡山県、岐阜県、静岡県	各1	児童指導員、保育士、言語聴覚士	各2
福井県、福岡県、大分県		性教育講師、施設経営者	
福島県、山形県、山梨県 岩手県		相談員、保健師、養護教諭、看護師、医師 思春期保健相談士、医療従事者、会社員	各1
無回答	1	無回答	2
合計	65	合計	65

⑦ 小児期発症慢性疾患の移行支援

～移行期医療から考える、成人期に向けたライフステージごとの支援～

日 程：令和8年1月24日（土） ※見逃し配信あり

場 所：兵庫区文化センター

講 師：位田 忍 氏（大阪母子医療センター臨床検査科 主任部長、
大阪府移行期医療支援センター センター長 小児科医）

植田 麻実 氏（大阪府移行期支援センター 移行期医療支援コーディネーター 看護師）

田家 由美子 氏（大阪母子医療センター副看護部長、患者支援センター副センター長）

受講者：36名（会場受講 13名、見逃し配信 23名）

受講者内訳：（会場受講）

地域別人数（名）		職種別人数（名）	
兵庫県	13	作業療法士	6
		理学療法士、相談支援専門員	各2
		言語聴覚士、保健師、ヘルパー	各1
合 計	13	合 計	13

（見逃し配信）

地域別人数（名）		職種別人数（名）	
兵庫県	15	看護師	8
大阪府	3	理学療法士、作業療法士	各4
京都府、奈良県	各1	医師	2
和歌山県、東京都		児童発達相談員、教員、公務員	各1
岐阜県		非常勤講師	
		無回答	1
合 計	23	合 計	23

⑧ 保護者のための療育講座

わが子に合ったかわり方が見つかる子育てのヒント ～うちの子らしさって、なに？～

日 程：令和8年1月30日（金） ※見逃し配信あり

場 所：子ども発達支援センター・さんだ

講 師：飯田 勇人 氏（当財団作業療法士）

受講者：67名（会場受講 22名、後日配信 45名）

受講者内訳：

地域別人数（名）	
兵庫県	61
大阪府	2
千葉県、岐阜県、沖縄県、北海道	各1
合計	67

(6) 講師の派遣

要請のあった団体（学校、幼稚園、保育所、療育施設など）に、職員を講師として派遣した。

派遣先	テーマ	受講者数	実施者
悦萃坊（台湾）	シェルボーン・ムーブメント ～セッション5・6～	39名	財団職員2名
さんだ子ども発達支援センター かるがも園	子ども療育講座 ～体幹が弱いつてどうということ？～	64名	財団職員4名
大阪リハビリテーション専門学校	作業療法治療学 発達障害系Ⅱ 感覚統合理論の基礎編	20名	財団職員1名
大阪リハビリテーション専門学校	作業療法治療学 発達障害系Ⅱ 感覚統合理論の応用編	20名	財団職員1名

(7) 実習生・研修生の受け入れ指導

言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の養成機関より、依頼があった学校の学生を受け入れて、指導した。

種別	学校名	日程	人数	実習地
PT	神戸国際大学 リハビリテーション学部 理学療法士学科	令和7年8月25日 ～8月27日	2名	神戸市総合療育センター
	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科	令和7年9月8日 ～9月12日	1名	神戸市総合療育センター ひまわり特別支援学校
OT	関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科	令和7年6月9日 ～8月1日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
	神戸医療福祉専門学校 三田校 作業療法士科	令和7年7月28日 ～9月26日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和8年1月19日 ～2月20日	1名	
		令和8年3月2日 ～3月13日	1名	
	藍野大学 医療保健学部 作業療法学科	令和7年9月1日 ～9月6日	1名	神戸市総合療育センター
	姫路獨協大学 医療保健学部 作業療法学科	令和7年10月6日 ～10月25日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	令和8年1月12日 ～3月7日	1名	子ども発達支援センター・こうべ	
ST	神戸医療福祉専門学校 三田校 言語聴覚士科	令和7年6月2日 ～7月25日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和8年1月5日 ～2月27日	1名	
	大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科	令和7年8月25日 ～9月26日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
	姫路医療専門学校 言語聴覚士科	令和7年7月21日 ～9月19日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
令和7年11月4日 ～12月12日		1名		

(8) 児童発達支援・放課後等デイサービス

未就学・就学児で、集団療育および個別療育を行う必要があると認められる子どもたちを対象に、日常生活における基本的な動作の指導や知識技術の獲得支援、集団生活への適応訓練などを行った。

◎ハッピーキッズ in こうべ

通所児：児童発達支援	10名（日）
放課後等デイサービス	10名（日）
計	20名

保育所等訪問支援：障がいのある子どもが通う小学校、幼稚園を訪問し、集団生活における子どもへの適切な支援について関係者と情報共有を行った。 7件

◎センターキッズ

通所児：放課後等デイサービス	15名（日）
----------------	--------

(9) 三田市障害児療育センター（児童発達支援センターかるがも園）

◎児童発達支援（かるがも園）

就学前の障がいのある子どもに対して、一人一人に合わせた専門的な療育を行うとともに、保育スタッフと訓練士が協力して多角的な支援を行った。

在籍児数	かるがも園（週5日単独通園）	20名
	すくすく教室（週1～2親子通園）	23名
	たけのこクラブ（週1日並行通園）	22名
	計	65名
	（年間延べ	5, 190名）

通園児・訓練の状況

年齢別内訳		個別訓練	
0歳児	2名	理学療法	58回
1歳児	3名	作業療法・感覚統合療法	421回
2歳児	11名	聴覚言語療法	168回
3歳児	18名	グループ訓練	
4歳児	15名	聴覚言語療法	42回
5歳児	16名	作業療法	44回

◎保育所等訪問支援（かるがも訪問支援）

障がいのある子どもが通う小学校、幼稚園を訪問し、集団生活における子どもへの適切な支援について関係者と情報共有を行った。

訪問事業件数：8件	相談事業：19件
-----------	----------

◎相談支援事業（かるがも相談支援）

家族や関係機関等の相談に応じて必要な情報提供を行い、連携して課題解決にあたった。また、定期的にモニタリングを実施して利用者に合わせたプランの提案を行った。

在籍児・者数	障害児相談支援	194名
	計画相談支援	10名
	計	204名

相談支援の状況

指定相談支援事業		基本相談	
新規計画作成	22件	電話相談	158件
計画作成	197件	訪問相談	5件
モニタリング	200件	来所相談	34件
		その他	11件

◎日中一時支援（のびのびクラブ）

家族の就労や休息等により預りが必要な子どもに対して、かるがも園の保育終了後に一時預りを行った。

実利用人数：34名

年間延べ利用児童数：1,513名

◎その他の事業

研修の実施

内容	実施日程	対象
「かるがも園の療育について」	6月17日(火) 6月18日(水)	保護者20名
「骨盤整体体操&ウォーキングレッスン」	7月14日(月)	保護者8名
「シェルボーン・ムーブメント研修」	9月24日(水) 9月30日(火)	(すすく教室) 保護者12名
「子どものことばの発達について」	1月28日(水)	保護者16名
きょうだいプログラム保護者研修会 「卒・退園児さんの保護者のお話」	2月16日(月)	保護者5名
「卒・退園児の保護者のお話」	3月4日(水)	保護者14名

実習生の受け入れ

学校名	日程	受入人数
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科	令和7年5月21日	3名
湊川短期大学 人間生活学科 人間健康専科2年	令和7年8月4日 ～8月22日	2名
兵庫教育大学 学校教育学部 幼児教育グループ2年	令和7年9月1日 ～9月12日	2名
湊川短期大学 幼児教育保育学科2年	令和7年10月6日 ～10月10日	1名
湊川短期大学 幼児教育保育学科1年	令和8年2月5日 ～3月17日	4名
関西学院短期大学 保育科1年	令和8年3月2日 ～3月13日	1名

園庭開放

障がいのある子どもと地域の子どもたちが一緒に活動できる場として、休日にかかるがも園の園庭を開放し、ご家族みんなで楽しめる催しを行った。

実施日時	参加人数
令和7年5月10日(土)	参加者 55名、ボランティア 4名 合計 59名
令和7年8月23日(土)	参加者 132名、ボランティア 1名 合計 133名
令和7年11月1日(土)	参加者 41名、ボランティア 2名 合計 43名
令和8年3月7日(土)	参加者 69名、ボランティア 1名 合計 70名

緑の子育てミーティング

緑にあふれた芝生ひろばを守り育て、芝生を通じて地域の方々とのつながりを持つため、定期的にボランティアとミーティングを開催し、芝生の管理作業についての話や、近況報告等を行った。

実施日時	参加人数
令和7年4月26日(土)	ボランティア 4名、職員 4名 合計 8名
令和7年5月10日(土)	ボランティア 4名、職員 3名 合計 7名
令和7年6月7日(土)	ボランティア 4名、職員 2名 合計 6名
令和7年7月19日(土)	ボランティア 3名、職員 4名 合計 7名
令和7年8月23日(土)	ボランティア 2名、職員 4名 合計 6名
令和7年10月4日(土)	ボランティア 3名、職員 4名 合計 7名
令和7年11月1日(土)	ボランティア 3名、職員 4名 合計 7名
令和8年2月14日(土)	ボランティア 2名、職員 4名 合計 6名
令和8年3月7日(土)	ボランティア 3名、職員 3名 合計 6名

[2] [激励支援事業]

(1) 第25回 サマースクール

日 程：令和7年8月1日(金)～8月2日(土)

場 所：子ども発達支援センター・さんだ

三田市野外活動センター

内 容：家族から離れた1泊2日の集団生活の中で様々なプログラムにチャレンジすることで、子どもたちの主体性や協調性を育み、豊かな発達を促すことを目的に開校した。

援 助：神戸市社会福祉協議会 障害者福祉基金 フェスピック事業助成

参加児：小学生 10名 スタッフ 7名 ボランティア 3名

参加児内訳：

地域別人数		学年別人数	
神戸市	5名	1年生	1名
三田市	4名	2年生	2名
尼崎市	1名	3年生	1名
		4年生	2名
		5年生	2名
		6年生	2名
合計	10名	合計	10名

(2) 第46回 夏のレクリエーションツアー

日 程：令和7年9月6日（土）・10月4日（土）

場 所：キッザニア甲子園

内 容：東播・神戸地域の障がいのある子どもたちと家族を対象に、楽しみながら仕事にチャレンジし、社会のしくみを学ぶことができる「キッザニア甲子園」へのツアーを開催した。

援 助：兵遊協福祉基金

神戸市社会福祉協議会 児童福祉基金 唐川民間社会福祉団体事業助成

物品寄贈：丸中製菓株式会社・サントリー株式会社神戸支社・アサヒフーズ株式会社

参加者：子どもと家族 290名 スタッフ 24名

参加者内訳：

地域別参加人数		年齢別人数（対象児・者）	
神戸市	178名	3～6歳	34名
三田市	68名	7～12歳	67名
明石市	12名	13～15歳	8名
加古川市	11名		
姫路市	11名		
三木市	4名		
加古郡	3名		
尼崎市	3名		
合計	290名	合計	109名

(3) 少林寺拳法連盟「KHSCさんだ」秋季レクリエーション

日 程：令和7年10月26日（日）

場 所：有馬富士公園

内 容：子ども発達支援センター・さんだの少林寺拳法教室の参加者が交流を深めることを目的に、レクリエーションを開催し、地域奉仕としてゴミ拾いを行った。

参加者内訳：中学生以下 3名、高校生以上 2名、教室指導者 6名、保護者 2名

(4) 子どもたちの個性を育てる活動

身体活動をとおして、子どもたちの身体能力の発達と精神的な発達を支援した。

中学生・高校生クラブは、将来の社会参加を見据えて、社会適応能力を養った。

場所：子ども発達支援センター・さんだ

活動	実施曜日	登録人数	活動回数	延参加人数
トランポリン	毎週火・木曜日	18名	93回	515名
少林寺拳法	毎週日曜日	10名	40回	321名
中学生クラブ	月1回土曜日	9名	13回	35名
高校生クラブ	月1回土曜日	2名	13回	22名
自然体験クラブ	月2回土曜日	25家族	20回	411名

(5) 神戸ストークス バasketボール 試合招待 Kids Dream Project

プロBasketボールチーム：神戸ストークスより、子どもたちと家族を試合にご招待いただいた。今回、エスコートキッズへの参加は無かったが、記念品として応援メガホンを頂戴した。

招待日程：令和8年2月28日（土）GLION ARENA KOBE 9家族 34名

(6) 他団体事業援助

子どもたちの発達援助のために、他団体が開催している事業に援助をした。

- ・兵庫リハビリテーション心理研究会 第40回大会
- ・兵庫リハビリテーション心理研究会 第36回療育キャンプ
- ・第52回兵庫県連合心理療育キャンプ

(7) 海外療育支援事業

令和7年7月に、NPO法人 シロアム友の会、NPO法人 海外に子ども用車いすを送る会、公益財団法人 PHD協会（ミャンマー大地震緊急募金）に寄付を届けた。

[3] [愛護思想啓発事業]

(1) 啓發文書の発行

- ① 令和6年度 事業報告書
発行日：令和7年5月 発行数：3,500部
- ② 短報の発行
発行日：令和7年8月 発行数：1,600部
令和8年2月 発行数：2,000部
- ③ 「財団だより52号」(機関紙)
発行日：令和7年11月 発行数：3,000部

(2) 令和7年度 療育募金

期 間：令和7年5月～令和8年3月

内 容：子ども発達支援センターの「初回相談料無料」や「非課税世帯への訓練費減免」のために、年間の療育活動に対する募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	6	その他団体	62
ライオンズクラブ	1	個人	28
社会福祉協議会	2		
合計			99件

(3) 令和7年度「サマープログラム募金」

期 間：令和7年5月～令和7年12月

内 容：「夏のレクリエーションツアー」「ことばの巡回相談」「サマースクール in さんだ」「少林寺拳法教室秋季レクリエーション」を実施するために募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	4	その他団体	54
社会福祉協議会	2	個人	28
合計			88件

(4) 賛助会員の募集

期 間：通年

内 容：個人や団体に向けて、障がいのある子どもたちへの理解を深めていただき、子どもたちの活動を支援して下さる「賛助会員」を募った。

協力会員数：1, 130名（前年1, 160名）

(5) チャリティーボックス募金

期 間：通年

内 容：医院やホテル、飲食店などにチャリティーボックスを設置してもらい、募金を呼びかけた。

設置協力数：293ヶ所

(6) 子ども未来応援募金

期 間：通年

内 容：家庭用のチャリティーボックス（募金箱）を配布し、個別寄金を募った。また、チャリティー・コンサートで来場者に募金を呼びかけた。

協力者数：4件

(7) 令和7年度 歳末募金

期 間：令和7年12月～令和8年1月

内 容：障がいのある子どもたちを支援する活動を、継続的に進めるために、個人・団体に向けて、歳末の寄付のお願いを呼びかけた。

協力数：763件（前年度753件）

(8) チャリティーコンサートの開催

ストラディヴァリウス・コンサート 2025 ～300年の名器による珠玉の室内楽～

内 容：当財団、日本音楽財団、神戸市民文化振興財団の共同により、ティモシー・チューイさん（ヴァイオリン）・上野通明さん（チェロ）・須関裕子さん（ピアノ）によるストラディヴァリウスコンサートを開催した。本公演のチケット販売による収入は、コンサート実行委員会を通じて、当財団の行う公益事業に寄付された。

日 程：令和7年9月13日（土）

場 所：神戸文化ホール 中ホール

主 催：公益財団法人日本音楽財団、公益財団法人神戸市民文化振興財団

共 催：公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

助 成：公益財団法人日本財団

協 力：子ども発達支援センターコンサート実行委員会

来場者：634名